

稿投 三里塚援農報告

久保田洋一

過ぎた夏のあの暑さもうそのよう。朝夕めざりと冷え込んできた秋のある日、俺達釜の仲間者は三里塚の援農を二日宿おこなった。若農家一人、二人と介抱し、農民と一緒に汗を流して仕事に汗を流したのである。もうこの時期になると、一年で一番忙しい稲のとり入れも終り、一段落という頃であるが、それでも近頃の農業は昔と違い、やさいや、牛、ぶた、にめとりなど、大規模に経営している。その仕事はなんぼでもあろうのだ。

豊かには北総の台地、長く肥え土、何をまいても良く育つ。都市の仲間者、市民に喜んで食ってもらうため、農民は汗を流す。しかし釜の仲間者は何も、農民にも、ともあけてもらうために農作業を手伝いに来た訳じゃない。田舎がなつかしいから来た訳でもない。

三里塚の農民が斗っているから、俺達も釜ヶ崎で斗っているから。

この豊かには北総の台地をフルヒタンスでふみつぶし、ぶ厚いコンクリートで固めて播種場にしてしようとしている奴、俺達からしほり取った血と汗で、俺達の立っているこの圃工をムチャクチャにして、結局のところ、俺達を生きたらぬいようにする、やうだ殺やうとしている奴だ。

釜の仲間者が三里塚に来るのは、俺達を日苦しめていろいろ資本家、役人共がや、ぱりこの三里塚の農民をも苦しめていっているというこをは、ざりと知っているからだ。

例によ、この三里塚も釜ヶ崎と同じように、長く肥え土政府公園の役人と機動隊が車を運ねてのし歩き、我がもの腰に農民を万

どかして遊んでいる。

三里塚の農民と其の斗う組織、三里塚芝山連合空老反対同盟は、もう十一年間ある時は血を流し、ある時は敗れて去る農民の涙を流し多くの犠牲を払いながら、全国の斗う仲間と共に、確固として房総半島の中央部に立っている。

釜ヶ崎から行く、尺多くの仲間達は、飯場に行くのと違い、銭にはならんか、たか、農民の、その土に生きる土性、骨を穿んで、ハレダレヒレ顔で釜ヶ崎へ来た。

は方三里塚下俺達も願、尺ゴボウは、大股に送られていよう、ギンピラごぼうにな、てみんもの胃袋に入るのです。

訂正

20ページ下段へいろいろ口カルタの欠落

へ戻りくつ達着仕事は最低アニコの肩ビレ

釜ヶ崎生活協同組合

組合員募集中

☆組合員の特典

一 ガス、水道代無料でラーメンをいただける
一 若たく梅を一回50円(水代含む)でつかえる

一 単身者は2000円、子供が家庭は5000円まで、つけ、ができる

☆組合員になるには

一 100000円の出資金を出すと組合員証をいただきます。

出資金は必ずに応じて返済します

☆面成区秋の茶屋3-16-15(取安積3)

釜ヶ崎前住者生活協同組合

デニワ 37218479

あいりん地区の労働者百人

どこか野宿さして...

多難なバス・キヤラバン

大阪市西成区あいりん地区で仕事にあふれた労働者たち約百人が、冬寒闘争実行委員会の呼びかけで、二十五日夜、中古の大衆バスに乗って、さすらいの旅に出た。このバスは午後十時ごろ、天王寺区の四天王寺に「境内で野宿したい」と申し入れたが断られ、深夜の町をさまようバスの後には大阪府警の警備車一台、バス二台、パトカーなどが続き、物々しい行列にふくれ上がった。

これは、あいりん地区で毎冬公園にテント村をつくり、たき出しや寝とまりの共同生活をしてきた冬寒闘争実行委員会の呼びかけで始まった。キヤラバン。今年の二月、大阪市から「公園の不法占拠」としてテント村の



大阪駅ガード下でふとんを敷く労働者たち (26日午前0時50分)

強制退去をさせられ、この冬は早くからテント使用の不許可を言い渡されていた。実行委員はあくまで冬寒闘争は続ける、とこの十日から西成区花園北二丁目、花園公園で夜食のたき出しや、たき火野宿を続け、二十五日夜には約百八十人の労働者が非当を受け取った。しかし、実行委員ではテントを張ることができないうえ、警察の監視態勢がきびしく、地区外に宿泊場所を求めたことにした。

この夜九時すぎ、集まった労働者に夜食を配ったあと、このほど実行委員が二十万円で買入れたバスの車体に「仕事とせ」「殺人行政罰罪」と赤ペンキで大書き、花園公園に乗りつけた。マイクで「連座なく乗り込んでください」と呼びかけ、廻り員百人を乗せて出発した。四天王寺では「寝るところがない。ひと睡、屋根のあるところか、境内の野宿場所を貸してほしい」と談判した。応対に当たった同寺の南谷恵護執事長が「重要文化財もありと断るので野宿はお断りしたい。多人数の宿泊

施設はない」と断り、実行委員会代表も「では、よそをさがすよしかたない」と二十時二十分、再びバスに乗り、住吉神社へ向かった。

住吉神社では、大阪府警警備車、パトカーなどが先まわりして神社への立ち入りを規制。労働者たちは神社前に降り立ち、一服しただけ。二十六日午前零時四十分ごろ、国鉄大阪西側ガード下で、ふとんなどを敷いて、ねぐらづくりを始めたが、警察側から「撤去しなさい」と警告されしお引き揚げ、また深夜の町へ。労働者は「行政は、解決策も出さず、あれもいかん、これもあかん、うはかりや」と口ぐちに文句をいっていた。

新聞にの

最近の

冬ヶ崎(ユ)

取業不安定所

釜ヶ崎前仲セニターに取業安定所愛護出張所と称するお役所が存在する。然し本当に取業安定所だろうか？ 私にはそうは思えない。つまり技術指導なるものはオヤナリで気まぐれであり、取業の安定に対する行政指導も、いやその痕跡すら見出せない。言葉を交えていえば、あんな機関がなくとも労働者は一向に痛くもかゆくもないと云う事である。

たゞ、失業保険の支払い場所しか過ぎない。それに元来公務員たるべきは、公の僕であるべき筈なのに、実体は労働者大衆に君臨する「雇者ネロ」の姿勢らしき臭いがフンとヒして誠に「臭」もちならぬ。併に最近の不安定所の係員の片断者に対する態度は至極評判が悪すぎる。だから自然と労働者のそれに対する悪感情は強烈口がらも深く御かに溜を巻いて流し始めて、夜である。事

奥私ガ街銀や人々のたむろする酒屋、公園、食堂などで不特定多数の州人々々の怒りの声をしばしば耳にする。

曰く、セニターの奴等め、まるめてお金の銭でもめんどやる様存つもりやいか、て、キョットしたミスでもどなりつける様に威張り散らしゃがるよ、今に見てるよ、一番先に指玉だ。

また曰く、最近の認定とさたらやたらにうるさくなりやがって俺達の就労証明をまるまいるキンチキしていろんじやねえか？ なんて眼で見やがって臭い、アタマに来るなあー。

また、曰く、なあ、おち。んよ、俺らあんこ、朝は四時半をつくやろ、まともな奴ならまだまだ日河夜舟の時間やがね、それをもまあ仕事にありついたら上昇や、やうで、し、ろ、幾日も仕事せなくてお先息暗や、たら別え一枚風

S 生

百円出してモ印紙買つて張る氣にもなりまっ
しやろ。二杯の酒を一杯に……使に一食
抜いても、もう四五枚張つたら来月は印紙も
らえるのよとほ、たら印紙買ひとうなるのが
人情とちがいますしやろか？ セニターの叔
等、自分も腹を痛む証やないのに痛達の苦し
みも知らんと、こいこい二千キヤ、こいこい
紙バリ、こいこいしやが。こいこい月の停止や
しなんてどなりやがる。暴動でも起さたら一
緒にさしおいたらか？ と思ひますの無理おま
へんやろ。至極ぶ、とうな言葉にも出
にはぶつかると今日この頃である。中原氏の言
う通り認定の金庫んと貴人のが理想かも知
れないけど、してモ今の不景氣では無理な話
である。

セニターが事取取定所なら換種田に各
事業所に切ぎ掛けて大車輪を走り廻つて前後
部をたてるべきで有るやんが打もせんと、
不正な証明や印紙のキキムツばかりに血
道をあげてける役人つらを見る度に、今に片

方が有るまい。
だから西成不景氣だと言ふ事だ。今は一
般に建設関係でも造船でも工場でもその会社
の半備夫にモ一ヶ月に何日か半強制的に休ま
せている所も多い。目録である以上泣き／＼
であろう。まして釜ヶ崎の臨時人夫ほどはお
の事である。昔の池田総理は、貧乏人は妻を
食へよと云つて問題になつた。不景氣の役人
は、食ひずく死ぬよと云うのであろうか？

大体失業保険制度の本旨は失業者の生活救
済にある。だが二月二十八日モ何けな
い種は不景氣になつたらその法は無いのも同
然である。彼ら多忙で権利を取出来ぬ連中
には不景氣であるし、仕事がないで権利のな
い人達にこそ必要であるといふ矛盾に役人達
は感づいてないのだからか？

公務員の年次有給休暇と同じく差支て取扱
つていふししか思ひ出し、法だから、規
則だから、といつて強弁のはい非人道的なや
り方では一般市民が困る、とくするの

州府の天下には、たら貴様等一番先に電信柱
にぶらさけてやるとうと嘔吐の声を聞ける
人々に同情したくもなる。

国民の血税なんだから慎重に大切に使ひ
な行ひならぬとこれでも判らぬわけでは
ない。然し血の通はぬ行政なら血は既に
行政とは言い難いのではないだろうか？

最近、紙幣証明を出している各事業所に、
不安定からじゃん／＼ 噂が入る。これ
が血は間違ひなく働いてるか？ 矢日は何日
から何日迄働いたか？ と根はり葉はり聞き
出しているらしい。下請のキ、ボケな事業所
のうちには、こんなくうさくさ働かぬなら
紙幣証明用紙なんか持て来ぬ人は使ひたく
ない、との空気がもでている。やうなると自然
ヤヤコシイ証明用紙が感しづらぬ、つまり
手帳のない連中を優先して使う事になる。仕
事に就きたいし認定証明は欲しと苦しむ
のは労働者だけである。要するに窮乏者いじ
めだ首吊りの足を引きつる輩と云われても仕

むずかしい。私は時々こんな事を差支人
でしまふ。失業認定し二千何百円かを支払
う事かこの不況の真口中で一般労働者の生活
難から来る其の尽りの込も、女暴動の爆発を
押えてく働いてる大だ一つの安全弁である
今、その安全弁が法の運用、しかも四角四
角の中うづう性のない巨大なハンマーで打ち
くだかれようとして居る。

印紙の売買は決して良い事ではなく、紙幣
証明の不正は悪く悪い事にはなれない。何
れどもこの非情な不景氣の中で進行労働者を
除けば果して一ヶ月に何日働けるかという事
である。右未解労働者に限らず国家権力の発表
に信の置けるものかこれ程有つたらどうか？
だから釜ヶ崎の紙幣報告などは信用出来ぬ
果物を完全に把握してない者には事実の発表
は出来ぬ証はないから。

今日釜ヶ崎の労働者が釜共斗の運動に何
感しなげらも比較的に無関心を起つたのも、

その大きな理由の一つとして失業認定の袖付
 金に依るものがあつたと思ふ。ザリ／＼の縁
 であつても生活がいや生存がやりに支え
 られるとするならば誰も危い橋なぞ渡りたか
 らないものなのである。釜共斗の諸君に云ひ
 せたら日利根情と叱られるかも知れないけ
 れども、色々な社会の中で例えど人は事があ
 つたにせよさん／＼に痛めつけられ身もドモ
 ボロ／＼になつてや／＼とたどりついたらこの釜
 々崎という一見殺風景な汚いち／＼ぽけな港で
 何、と一息と云うところじゃないだらうか？
 やうだとしたらその安らぎがつかの間のもの
 であつて、イモヤリにしがみつきたくなるものだ。
 だが波風のない小さな島影の港のつもりでい
 たものが一夜明けたら者をたてて突然くずれ
 だしたとしたら、どうしてもその波風と斗ひ
 なくてはならない。人間として生きる権利の
 行使である。

雑記。てこのくゞ着い最中にい／＼騒ぎ
 出したくないに決つてゐる。風の通る静かな

編 集 後 記

年末にできるはずだ。反十
 三号がおくりました。それに
 ついてのイイワケはないと
 私はきめてます。十二号ま
 で編集発行の柱だつた中系ク
 ンがこの十三号のスタッフに
 入つていないのは事実です。

せよ、中系クンの「引きこ
 もりに関連した所て気変更な
 どがありまゝから、お知らせ
 を注意して下さい。今日は夕
 ツ年だやうです。ハラエた
 たら川なくとも、ハラエた
 たらマラエたてたりしてや
 りていきましよう。(下)

さうなればならぬと思ふ。
 出す側の人間にとつても「思
 はず」としての意味もないよう
 な「夜せ」をんてま／＼おらだ。
 今までの時として前著しい「夜
 せ」こそ俺には関係ないとい
 いたい。(い)

私なりの形勢をさせてもらう
 と、一年間の全打疾走のつか
 れで、彼はいま引きこもり解
 脱中、ということになります。

去年は去年で良い年であつ
 た。片方で、渡世／＼の一年
 であつた。という感もあるが、
 別段の気負いもなかつた。

編集長坂まで出せた。パンガイ
 刊行に腹を悩ませている。(い)

これは私なりの形勢なので中
 系クン自身が引きこもり神養
 中と言つてゐるのじゃありません。
 いずれにせよ、今までのより

ことでは決してなかつた。
 やりこみ争だ、やれ委員会
 の実態だとかいうことと
 無縁のものとして、渡世／

編集長坂まで出せた。パンガイ
 刊行に腹を悩ませている。(い)

不十分なものになるとしてこ
 ち、中系クン渡世／＼は出しつづけ
 たいと私たちは考えられています。

はいと思つてゐる、逆に

相影で騒々といきだす。然し機嫌よく眠つて
 いろのに無理に目醒めさせられたらどんなに
 大人しい赤ん坊やも泣きまじようし怒りもし
 ようというものだ。
 一般に大家は衣類に火がついて熱いと感じ
 るのは仲々にそれか業火と判じ難いものであ
 る。然し業火と知つたらどんな犠牲を払つて
 でもその火を消す事にちやうち／＼をしないも
 のであらう。
 以上

お知らせ
 パックナバーは12号
 (バンク特集号)しかありません。
 尚、いままで定期購読していただいた方には
 は、追つて前編集長より知らぬが連絡がある
 と思ひます。前著までの問い合わせは左
 記にお願ひします。
 西成郵便局私書箱31号 中系哲で宛
 〒557-91

定価一〇〇円(送料五十円)
中系哲渡世十三号
 一九七六年一月十日発行
 「中系哲渡世」編集委員会
 大阪市西成区菟の原屋敷一〇一
 九 新生社七号